

私のイシガケチョウとの初の出会いはまことに信じがたい出来事として強烈に印象に残っています。それは小学校からの帰宅の途上。友達とカマイタチという現象が本当にあるのかどうか、実際にそれらしき裂傷を体験した私自身の話を語りながらのんびりと歩いていた目の前を、モンシロチョウにしては変わった飛び方をするクリーム色のチョウが横切るように飛ぶのが見えたのです。とっさに私はたまたま手にしていた細い笹竹の棒でそのチョウを叩いていました。すると、なんと幅が1cmもない細い笹竹がそのチョウの胴体のどこかにヒットして、チョウはひらひらと目の前に落ちたのです。それは五台山ではまだ見たことのないイシガケチョウの♀で奇跡ともいえる瞬間でした。当時はすでに母手作りの蚊帳生地



June 25, 1997
高知市五台山産飼育
イシガケチョウ♂
leg. Yuui Yasuda



June 25, 1997
高知市五台山産飼育
イシガケチョウ♀
leg. M. Shimazaki

の蚊帳生地を持って五台山一帯のチョウ採集に走り回る昆虫少年をやっている、父にねだって買ってもらった横山光夫著「原色日本蝶類図鑑」をいつも眺めていたのでチョウの名前はすぐに分かりました。幸い羽に損傷はなく、とにかくその模様のきれいさに見入ってしばし興奮もおさまりませんでした。残念ながら記念すべきあのイシガケチョウの標本は残っていません。

イシガケチョウの幼虫はイヌビワやイチジクの葉っぱを食べます。イチジクの葉っぱは硬いので高知市での観察ではイヌビワが圧倒的に多く、イチジクにつくのは稀でした。数年前に加古川志方町でギフチョウ・ネット代表の竹内さんが成虫を目撃され、2008年4月の「チョウ観察会」の日にも竹内さんがイヌビワの若葉に新しい卵を発見されたのですがこの卵は天敵にやられました。続く6月のヒメヒカゲ調査の最中、大きなイヌビワのまわりを産卵目的で飛ぶイシガケチョウに出会い、イヌビワにはすでに若令から中令幼虫もいて、この場所での継続発生を期待しましたが、クモなどの外敵にやられたと思われる複数の蛹が認められるなど、自然界でチョウにまで生育することの厳しさを目の当たりにしました。

チョウと蛾との違いを語るとき、羽をひらいて止まるのは蛾である、というのがありますがイシガケ



Oct.29,2004 沖縄八重岳



Sep.15,2004 石垣島バナナ公園

シガケチョウがその例外的な代表的なチョウで、花の蜜を吸うときや路面の水分を吸うときも

たいがい羽を水平に開いた姿勢をとります。典型的なのはものごとく驚いたときの挙動で、急いで葉っぱの裏側に羽をひろげた状態で張りつきますが、まさにかくれんぼ。おそらく身を隠した

つもりなのでしょうが、次のスミナガシと共にこうした道化をみると楽しい気分になります。

驚いたときに急ぎ身を隠す挙動はスミナガシでもまったく同じで、ぺったりと葉裏にはりついて隠れる様子はとても愛らしく愉快です。スミナガシは日本産チョウでは珍しいデザインをもち”墨流し”とは実にいいえて妙の和名命名だと思います。

スミナガシでとりわけユニークなのが口吻の真っ赤な色です。好んでカシなどの樹液に集まり、この赤い口吻を伸ばしてチュウチュウと（実際はそんな音は聞こえてきませんが、いかにもそんな感じで）樹液を吸います。



幼虫はヤマビロ、アワブキとい

う樹木の葉っぱを食べ、イシガケチョウでも同様の習性があるのですが、葉っぱの先端部に自らの糞をかためて葉脈に似せた細い糸状の足場をつくって常駐場所とします。スミナガシの場合は特にその細工が巧妙で、葉っぱの中脈の両側から食いちぎって行って主足場とし、さらに幼虫の体に近い大きさの葉片をくいちぎり、それらを自ら糸を吐いてくっつけてカーテンのように複数



個ぶら下げるといふ術をもち、見慣れた人間にはむしろそれが目印となって幼虫を簡単に見つけることができるのですが、自然界ではハチや小鳥、クモなどの外敵に対する効果的なかくれみのとなっているようです。厳しい自然界の生存競争をいきぬいてゆくために、小さい幼虫がここまでの多彩な細工仕事をするとは、本当に感心するばかりです。スミナガシの終令幼虫は水牛のような大きな角状突起を頭から2本、にゅーっと突き出した異様な姿で、それまでの枯葉カーテンをぶらさげたカモフラ

ージュ場とはおさらばして、もっぱら葉っぱの上に出てチョウになるための最後の精力的な食事に専念します。

上の葉っぱ裏へのへばりつき写真は、あまりに古い記録しかなくてきれいではありませんが、次の大塚さんによる HP「神戸市の蝶・お気に入りの蝶」のなかにとってもきれいな写真がありますのでぜひご覧ください。

<http://homepage2.nifty.com/lycaena/kobe/favorite/2006/f-suminagal.htm>

スミナガシの翅表色調の美しさをみごとに映像記録されたブログも紹介しておきます。ゴマダラチョウが樹液食堂に群れている記録とともに楽しめます。

<http://floraltyou.exblog.jp/18544403/>

柿果汁を吸うスミナガシの記録が見られるブログ（Oct.10,2009）も紹介しておきましょう。

<http://lycaenidae.exblog.jp/m2009-10-01/>